

# よこはま支部だより

# Vol.42

発行日

平成19年1月1日

(社)神奈川建築士会 横浜支部事務局 担当：大平

〒231-0011 横浜市中区太田町2-22 神奈川県建設会館

TEL 045-201-1284

FAX 045-201-0784



## 横浜支部会員・賛助会員皆様

皆様方におかれましては、新春の意を新たに迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年中は支部活動に対し多大なるご支援ご協力を賜り心中より厚く御礼申し上げます。

お陰さまで当支部も皆様のご尽力により活性化され、各委員会では数々の実績が積れ、内容の深さに敬意を表し感謝申し上げます。

会員の皆様、今年は関東ブロック神奈川大会が当地横浜で六月に開催されます。出来得る限り各企画に参加され、建築士集団としての研鑽と友好の輪をひろげていただき、多方面での活躍をこころより祈念申し上げます。

平成十九年 元旦

横浜支部長 南 利幸



|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 平成19年 お年賀<br>横浜支部長 南 利幸        | 1     |
| ハイキング紀行の足跡                     | 2     |
| 第10回ハイキング紀行<br>箱根外輪山 大西正之      | 3     |
| 中島龍興氏 照明セミナー<br>第1～3回を終えて      | 4・5   |
| 小泉雅生氏 講演会を終えて<br>技術・情報委員会      | 6・7   |
| 第21回ワイン同好会に参加して<br>坂東 保則・加藤 隆夫 | 8・9   |
| テニス同好会だより<br>斉藤 達男             | 12・13 |
| <b>お知らせ</b>                    |       |
| 関ブロック神奈川大会に向けて<br>第4回活動交流会     | 14・15 |
| 委員会からのお知らせ<br>編集後記 広報委員会       | 16    |



## 『ハイキング紀行』の足跡

平成 16 年 5 月（第 3 4 号）の掲載から始めた「ハイキング紀行」が今回で 1 0 回目を迎えることができました。

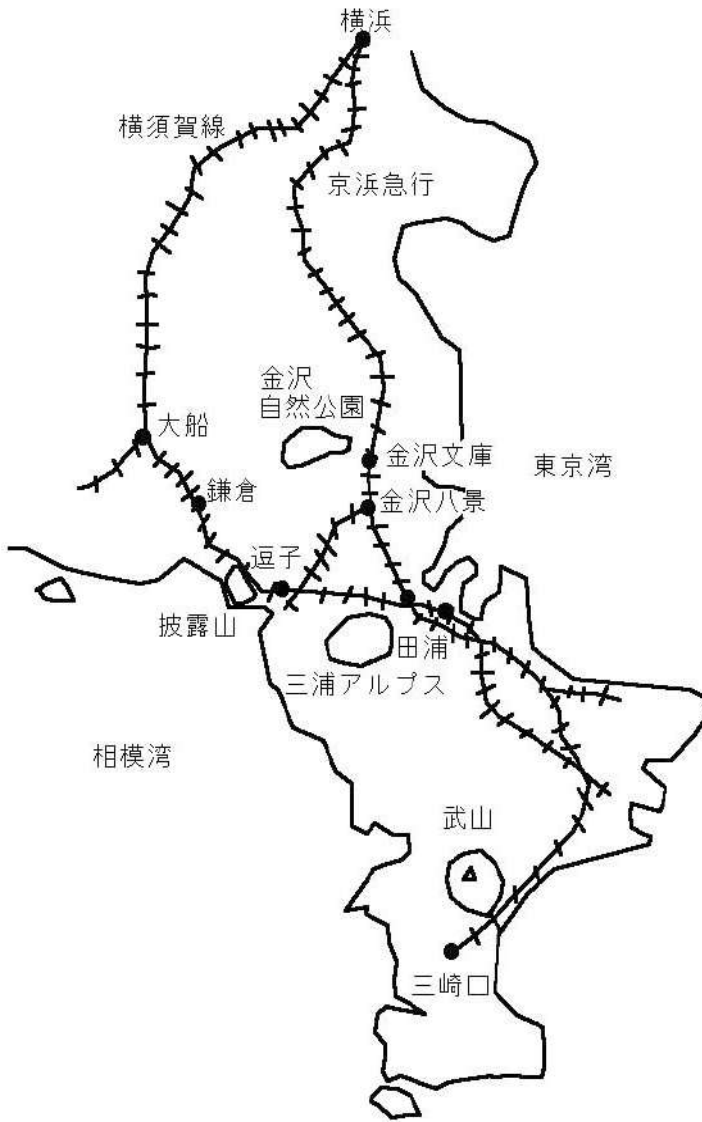
好評につき、このシリーズを続けたいと考えております。



大西正行さんに「ハイキング紀行」マップ作りをお願いしました。2 年半で歩かれた距離に驚きます。

支部会員の皆様からご要望をいただければ、広報委員会の後援で、一緒にハイキングできる機会を作りたいと思います。

大西さんの体力にさらに期待し、第 2 0 回目には「ハイキング紀行」の冊子作りを企画いたします。今後ともヨロシクお願いいたします。 広報委員会 大貫 浩



## 2 年半の足跡

- 第 1 回（3 4 号）麗春の武山 京急津久井浜駅より京急津久井浜駅まで 4 時間のコース
- 第 2 回（3 5 号）初夏の釜利谷 金沢文庫駅より金沢自然公園、半僧坊を経て北鎌倉駅まで
- 第 3 回（3 6 号）天園コース 前回の釜利谷コースの続編
- 第 4 回（3 7 号）披露山公園そして名越切通 逗子駅より鎌倉駅まで 3 時間のコース
- 第 5 回（3 8 号）箱根旧街道 小田原湯本より元箱根まで 6 時間のコース
- 第 6 回（3 8 号）城ヶ崎海岸 伊豆高原駅より城ヶ崎海岸駅まで
- 第 7 回（3 9 号）三浦アルプス葉山から田浦へ 逗子駅より京急田浦駅まで 4 時間半のコース
- 第 8 回（4 0 号）三浦アルプス森戸川林道 京急田浦駅より田浦梅の里を経、京急逗子駅まで
- 第 9 回（4 1 号）三浦アルプス二子山コース 東逗子駅より逗子駅まで
- 今回 第 1 0 回（4 2 号）箱根外輪山 大雄山駅より小田原湯本まで



# 第10回ハイキング紀行

箱根外輪山～大雄山最乗寺より明神ヶ岳・明星ヶ岳を経て塔ノ沢へ

大西 正行



新年改めまして、今回より箱根・丹沢山地の少し遠方まで足を伸ばします。

小田原より伊豆急・大雄山線に乗り終点大雄山駅で降り、バスで道了尊行きに乗り、終点で降りる。

降りたところは大雄山・最乗寺である。鬱蒼とした背の高い樹木に包まれた参詣の道を上っていくことになる。15分ほどで右上に本堂の配置されている伽藍の下にたどり着く。そこには天狗の赤い大きな鉄下駄がある。その脇がハイキングコースの入口となっている。

最初は急勾配だがすぐになだらかな林の中を進む事になる。30分ほどで林道を横切る。次に鉄塔の際にある標識を見て、また林道に出る。ここまでは30分ほどかかり、すぐに見晴小屋に着く。ここで休憩となる。眺



めは丹沢・大山から塔の岳あたりまでと足柄の里が見える。その後20分もすると視界が開け、明るいススキ野原をゆっくりと登って行く。振り返ると気持ちの良いぐらゐの景色が登りの疲れを癒してくれる。リフトの支柱が錆びた状態で残って居る。小屋からは30分ぐらゐだろうか、『神明水』なる水場に着く。顔を洗う。気持ちの良い冷たさである。

次に左手に3福神が祭ってあったり、いくつかの水場を通り過ぎると歩き始めてから2時間で三差路に行き当たる。ここを右手に行くと急勾配の坂道を我慢して10分ほどかけると、明神ヶ岳頂上である。ここからの眺めは、金時山と富士山を同じ方向に重ね見て、左に目を移すと箱根・神山、駒ヶ岳、双子山そして反対方向には今登ってきた足柄の里を手前に丹沢・相模湾・江ノ島方面とパノラマの世界である。ここでお昼となろう。



お昼の休憩は少なめにして、午後は最初だけ戻る方向だが、道は違い、明星ヶ岳へと向かう。

その間に2回宮城野方面へ下る分かれ道に出会うが、ほぼ、真っ直ぐに右手に箱根の中心の峰を見ながらの草原の尾根道と言った感じのところを、全体にはゆるい下りを軽快に歩く事が出来るだろう。途中いつの間にか明星ヶ岳の頂上(看板があるのでやっとな分かる)を通り過ぎる。

明星ヶ岳より鉄塔を経由して林道を800mほど歩き80分ほどで塔の峰に着く。そしてさらに70分ほど歩き、阿弥陀寺を経て塔の沢駅もしくは箱根湯本駅にたどり着く事になる。この最後の下りの70分はかなりきつくなる。足の弱い人は宮城野方面へ降りたほうが良いだろう。



隊長 森山 恒夫

昨年はモーガン邸の劣化調査と応急修理、旧後藤医院の調査、関東学院中高調査、大船支所追加調査、二宮まちあるき、求道学舎研修、八幡宮研修、片瀬郵便局・星野写真館・カトリック教会を見学、グリーンハウス再生への協力などなどの活動をおこないました。

11月には連休を利用して、鞆の浦・田島・松山・竹原などを訪ねて地元で活動する人達と交流しました。松山市三津では引き継がれた商家を守ろうと、神奈川県藤沢市から単身移住して食事処「鯛や」を始めて頑張る中年男性。出身は神奈川県だがご主人の赴任から松山へ越し、三津の素晴らしさと、歴史的建造物が消えていくことへ危惧し、1人頑張る女性へエールを送りました。

松山城の麓に「東雲学園中高」がありますが、モーガンの設計の校門が残存しています。戦災で松山市はほとんどが消滅していますが、校門だけはそのまま残りました。また、戦災で焼けた「みつばハウス」は焼け残った基礎を利用して復元されていますが、その設計はヴォーリズでした。それらを遺す努力をしている多くの方々とも交流をしています。

参加した隊員による「田島」「鞆の浦」「竹原」の手記をご紹介します。



松山三津「鯛屋」



東雲学園校門（建設当初）



東雲学園校門（現在）

「田島、快適古民家再生住宅」

内田ミチル

鞆の浦近く、福山市内の白く美しい橋を渡ると田島という島がある。私たちは、歴史ある集落の藤原俊彦氏のお宅を訪問させていただいた。外観はこの地方特有の典型的な200年近い農家だが、室内はみごとに組上げられた黒光りする松梁と美しい土壁で、モダンがほどよいバランスで存在している。入ってすぐが囲炉裏を囲んだサロン。開放的で大変明るい。藤原さんは、金融機関勤務の経験を生かし、正当な報酬あるところに技術や産業が守られる、という基本を守られ、古民家再生を通しお金やものの循環を、精力的にかつ楽しみながら実行されている。土壁を全て掻き落としてのリフォームは相当大変だったと察するが、地域産業の再生や仕組み作りを始め、熱く語られる姿は本当に生き生きしていた。きっとこの幸せな家はさらに100年くらい快適なんだろうな。

外観



囲炉裏を囲んだサロン



「鞆の浦の魅力」

梶 誠司

知人に会うたびに「鞆はいい所だよ。一度は行ってみるべきだよ。」と云われ続けて、自分もこの街に興味を持つようになった。今回、その機会に巡りあい「鞆の浦」に足を運ぶ事となり、その魅力を探る旅となりました。

知る人ぞ知る「鞆の浦」— 広島県福山市で瀬戸内にある小さな港町。古くは万葉の時代（奈良時代）から歴史をもち、江戸時代は、北前船の寄港地として、「潮待ちの港」として栄えました。

街中は、港のシンボルである「常夜燈」（安政6年建立）を中心に、大商家・蔵・船具屋などが建ち並び、主要道は、車がやっと擦れ違うほどの幅で、一步奥に入れば幅1mにも満たない路地が多く、当時の繁栄の面影を今も数多く残しています。

その街並みを文化遺産として景観を壊さず再利用し、街の活性化に務める鞆の人達の情熱が、街中を散策していると伝わってきます。

また、「鞆の浦」を訪れる旅人に対して気さくに接してくれるので、とても親近感が沸きました。

「鞆の浦」は、歴史をもつ街並みの素晴らしさもあるが、人とのふれあいを大切にする鞆の人達の温かい気持が、この街を一層魅力的にしているのではないかと思います。

今回は、滞在期間も少なく、慌しく街並みを散策しましたが、（まだ足を運んでいない箇所もあるので）近いうちにまた時をもち、ゆっくりと訪ねてみたいものです。



常夜燈からの眺め



雁木（がなぎ）



まち中の文化遺産

「竹原市の町並み保存地区を訪ねて」

桑田由加子

11月初旬、広島県の竹原市を訪ねました。竹原市は江戸時代に塩田で栄えた町であり、一部は重要伝統的建造物群保存地区となっています。まず高台にある西方寺に上がり町を一望。昼食後は今回の目的である、塩問屋として繁栄を極め、幕末に建てられた屋敷をそのままの形で残している亀田邸へ。横浜支部のY氏のご実家でもあるこの建物は、煎茶の席、抹茶の席とそれぞれの茶室を設けた離れの座敷があり、庭木もよく手入れされた風情のあるもので、亀田氏の家への愛情を深く感じました。急ぎ足の旅でしたが、町の中にはまだまだ見るべき建物が沢山あり、またぜひ行きたいと思っています。



西方寺から



美しいまちなみ



風情のある庭から

## 建築家 小泉雅生 氏

講演会（10月24日：情文ホール）を終えて



音楽のロックバンドでも月日が経てば各自がソロ活動を始めるように、シーラカンスのメンバーも東京（小嶋+赤松）、横浜（小泉）、名古屋（伊藤+宇野）に分かれ、設計活動を開始しました。

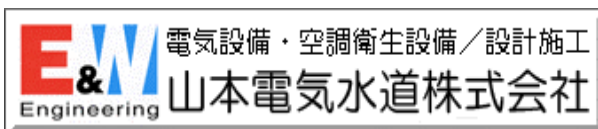
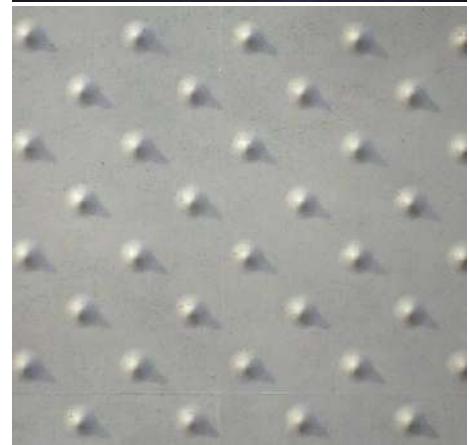
横浜の白ビルに事務所を移した小泉さんに、技術・情報委員会がコンタクトを取ったのは7月頃。小田原の城下町ホールのコンペが次点で、所内に無念さと疲労感が漂う中、小泉さんは我々の依頼を快く受けてくれました。「僕は住宅が少ないけれど……」と言いながらも、用意されたスライドは50枚以上。所員の方によると、講演の直前まで、その順番を試行錯誤していたそうです。

いよいよ講演の始まり。スクリーンには、並んで立つ着物姿の男女。そして第一声は、「建築を突き詰めて最小限化していくと、私は衣服になると考えます」でした。サブテーマは身体的な距離感から環境的な建築へ。なるほど、身体から見れば衣食住の衣と住は、優しく包んでくれる「似た者同士」です。

有名な住宅「メガタ」は、かなり早い段階で登場。親と同じ敷地に家を建てても良いが、庭木は一本も切ってはならないと言われた息子夫婦。難題を受けた小泉さんは、境界線沿いにわずかな隙間を見つけ、液体をポタッポタッと垂らしながら面積を広げていきます。狭い場所で「もんじゃ焼き」をしているようだったそうですが、空間はとても伸びています。

戸田市立芦原小学校は、講演の中盤あたり。触覚に訴える外壁は、子どもたちの評判も良いそうです。会場から施工の型枠についての質問が出ましたが、懇親会では裏話もありました。突起の乳房のような形状に役所の担当者が難色を示し、最終的には市長が自ら触って判断し、やっとOKが出たとか。

目からウロコの内容が次々と展開されましたが、総じて受けた小泉流の印象は、「大胆かつ繊細」。翌々日には、この情文ホールで、横浜市港湾局の「象の鼻地区プロポーザルの公開2次審査」があり「プレゼンの2日前で、この講演が良い予行練習になりました。」という小泉さんは、見事に最優秀賞を勝ち取りました。横浜でのソロ活動が、いよいよスタートします。 （技術・情報委員 田川尚吾）





#### ■■■ 講師プロフィール ■■■

中島龍興氏。中島龍興照明デザイン研究所設立。住宅・店舗から都市景観の照明計画・設計を手がける。国際照明デザイン賞、JID 賞(インテリアスペース部門)などを受賞。

主な参加プロジェクトは HP をご参照ください。<http://www.h2.dion.ne.jp/~nakajima/index.htm>

#### ■□■ セミナーの内容 ■□■

第一回 10月4日(水) 照明コンサルタントとしての仕事 ~海外のあかり・日本のあかり~

第二回 11月1日(水) 色彩と照明の関係 ~色温度・演色性の知っているつもり~

第三回 12月6日(水) 戸建住宅と集合住宅 ~エクステリアからインテリアまで~

□場所 ・ハウスクエア横浜 4F セミナールーム

□主催 ・神奈川インテリアコーディネーター協会

□後援 ・(社)神奈川県建築士会横浜支部 (社)インテリア産業協会

#### ■□■□■ 報告 ■□■□■



3回に及ぶセミナーは、回を重ねる事に参加者が増え、最終回は 70名を超え机席が不足、通路にイスをご用意させていただくような状況でした。毎回の参加者の約半数は、建築士会会員でした。(内訳は、約4割が横浜支部、約6割は他支部の方です。)皆様、ありがとうございました。

毎回のセミナーは、中島先生のお仕事の実例から照明実験まで趣向が凝らされ、受講する側にとっては具体的にビジュアルに伝えていただけたので、セミナーの2時間は短く感じられました。セミナー後も先生を囲んで質問をされていた方も多く、参加者にとっても充実した時間であったと思います。では、ご参加できなかった方の為に、この紙面でチョットだけ……。

照明計画をするに当たって、実験が大切だというお話が3回を通してありました。住宅のあかりのイメージをクライアントに伝えるには、¥100 ショップで買って来た小道具とハンズで買って来たランプを使うと簡単な実験ができます。室内で具体的に見せる事で、必要なあかりを実感させ、納得させる事ができるプレゼンテクニックを教わりました。また、お仕事のクレーム話は、参加者の笑いが絶えず、失敗を大いにさらけ出してくださる先生の気さくなお人柄が伺えました。もちろん理論的な講義もあり、私は知っているつもりだった事に反省をしました。

先生は、多くの建築士の方々に「あかりの設計について」お話できた事をとても喜んでおられました。

私達は空間と向き合う時、自然光、人工光を意識せずにはいられません。それは建築士でもインテリアコーディネーターも同じだと思います。そこで、実務に役立つ内容として企画開催させていただきました。ご協力下さいました皆様、ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

技術・情報委員 吉本真理

## フランク・ロイド・ライトに学び フレンチの鉄人「坂井シェフ」を味わい

### 未来型水上バス「ヒミコ」で隅田川を下る

H.18.11.1(水) 厚生委員会主催 日帰りバス旅行

「プレリーハウス(草原様式)」と呼ばれる、軒高を低く抑えて水平線を強調した立面、幾何学的な建具の装飾は、ライト建築を象徴しています。大正10年、当時帝国ホテル設計のために来日していたライトに自由学園(女学校)の校舎の設計を依頼しました。

自由学園創立者の羽仁夫妻の教育理念に深く共感し、設計を快諾したとされています。日本に残るライト建築の特徴である大谷石が多用され、建物の基本構造が現在の2×4工



法の先駆けと言われるなど、他の日本建築には見られないライトの作風を示す典型的な建築です。自由学園と日本の教育の明日を託して、この建物は「明日館」と命名されました。現在は、国指定の重要文化財に指定されていますが、建物は使ってこそ維持保存ができるとの考えから、使いながら文化財価値を保存する「動態保存」のモデルとして、運営されています。

鉄人・坂井宏行シェフのフランス料理店「ラ・ロシェル (La Rochelle)」にてランチ



広々とした店内、14階からの眺めも最高



芸術的なまでのデザートです

坂井シェフと記念撮影





何かと話題の靖国神社を見学

漫画・アニメ界の巨匠 松本零士の  
プロデュースによる未来型水上バス  
「ヒミコ」にて浅草よりお台場まで  
隅田川下りを楽しむ  
吾妻橋から始まり蔵前橋、両国橋、  
佃大橋、勝鬨橋等、12の橋の下を  
くぐり、最後のレインボーブリッジ  
を見上げながら、通過した頃には  
もう、陽も落ち始めました。



お台場で夜景を眺めながらの ビールの美  
味しいこと、美味しいこと。  
天候にも恵まれ、22名の参加により、楽し  
いバス旅行でした。

平成19年度のバス旅行は、鉄人シリーズ第3弾、中華の鉄人 陳 建一です。

乞う、ご期待を！



## 第21回 ワイン同好会に参加して

川崎支部 副支部長 坂東 保則

秋の深まりを感じながら、11月9日に海岸通の「アクア・オリビン」で開催されました「ワイン同好会」に川崎支部より参加させて頂きました。

もう何年前になるでしょう？私が最初にこの会に参加させて頂いたのは、「ヨコハマポートサイド ロア壺番館」の最上階だったと記憶しています。



左のお二人が坂東氏親子

それ以来、長井さんから、毎回のようにお誘い頂き、参加させて頂いた回数もずいぶん増えてきました。

今年も春の「山手十番館」別館での前回に引き続き今回も参加させて頂き、いつも美味しいワインと食事、そしてそれ以上に皆様方との会話に楽しいひとときを過ごすことができ、横浜支部のワイン同好会会員の皆様方には感謝しております。

今回はさらに私の父も参加させて頂き、なつかしい、お知り合いの方々と談笑しながら、ワインを頂き食事をする事ができ、大変楽しい様子でした。

私がこの会にお誘い頂くきっかけは、建築士会横浜支部には私共の昔から友人や諸先輩方が大変多く、また父も以前、川崎支部の支部長を務めさせて頂いた経験がある事等から横浜支部の方々との関わりもかなり深い事もあって、この同好会の存在を知り、お誘いを受ける事となりました。

ワインは、今回も長井さんが厳選して下さい、5種類を頂きました。

2種類の白と3種類の赤、ボルドー好きの長井さんとしてはめずらしく、そのうち、たしかブルゴーニュが3種類だったと記憶しています。

私はワインが好きではありますが、全く知識が無く、この会を通じ、長井さんはじめ、詳しい会員の皆様方の蘊蓄に耳を傾けながら美味しいワインを飲むのが、非常に面白味と楽しみを感じます。

実は私はシングルモルトウイスキーも大好きで、川崎ではモルト好きが数人集まりたまに「モルトの会」なるものを開催し、ハイランドモルト、ロウランドモルト、アイラモルト・・・等の飲み比べをしたりしました。

ワインはモルトに比べ、味の違いが、よりデリケートに感じるのは、恐らく私がワインの味がわかっていないからなのでしょうネ？長井さん！

只これだけは言えそうですね、「美味しいワインは、食事の味も引き立たせる」しかし、モルトは？・・・食事をしながら飲む酒ではないのでしょうかネ。

そんな事を思いながら、気が付いてみると、かなりの量を飲み心地よくなってきた自分に、ふと気が付きました。

これからも是非参加させて頂きたいと思いますし、色々教えて頂きたいと感じながら楽しい一夜を過ごさせて頂きました。

長井さん！川崎支部との「合同ワイン会企画」を是非実現させたいですネ。

## 第21回ワイン同好会に参加

横須賀支部 加藤隆夫

県庁通りの銀杏並木の葉にもそろそろ色付きはじめた11月9日、海岸通りの小さな洋食屋さん（アクア・オリビン）で第21回ワイン同好会が開催された。横浜支部の事業にもかかわらず、他支部の横須賀にも声を掛けて頂き有難く思っている。久しぶりの参加なので少々張り切りすぎ、家を早く出たは良いが、集合の6時30分にはまだ1時間弱間がある。



右からお二人目が加藤氏

どうしようか迷っていると、新しい士会事務所近くに立ち飲み居酒屋がオープンしていた。冷酒にイカソーメンを肴に、チビリチビリ時間をつぶし、集合20分前に会場に着いてみると、既に10名程が集まっていた。士会本部の総会や見学会等で顔なじみの人たちが大勢居られるので余り違和感はない。

横浜支部には色々同好会があり活発に活動しているようだが、横須賀支部にはスキー同好会がただ一つ。第36回目を迎える出来立ての来年用のパンフレットを藤田副会長さんはじめ、例年参加頂いている横浜支部の方々にPRや近況報告とやら、開会までの20分は瞬間となる。

幹事の長井邦夫さんの挨拶のあと、本日の参加者20数名にワインリストが配られ、夫々についての特色、産地、グレードなどが説明された。眼鏡を忘れ良く見えないのは言い訳だが、名前を知るワインは今回も無さそう。5種類が準備され、リストNo.2のコルトン・シャルルマーニュ



が本日の極上ワイン。一流レストランならグラス一杯で今夜の会費分近いとか。他のワインは2～3本用意されていたが、この貴重ものは1本のみ。全員で賞味するのでグラスに並々と注がず良く味わって下さいとの御触れ。通でない私にはもったいないので遠慮しながらもグラスに少々頂く。極上との説明付きなので特に（美味しい）？

次々に出てくるフランス料理の美味さに舌鼓を打ち、楽しい話題に花を咲かせ、秋の夜の「更ける」を忘れるひと時。額に薄っすらかいた汗を拭き拭き、幸福感に浸り、横浜支部の同好会の皆様に感謝しつつ、しかし、少々飲み過ぎたようだ。閉会予定の9時が来るのは早い。次回も誘ってくれるかなあ～？

（参考）第21回 ワインリスト

- 1 ブルゴーニュ・ブラン '04 (白) 3本
- 2 コルトン・シャルルマーニュ '01 (白) (MG) 1本
- 3 ポマール・クロ・デ・セブノー '98 (赤) (MG) 2本
- 4 CH・フェラン・セギュール '98 (赤) 4本
- 5 CH・プージュオー '95 (赤) (MG) 2本

# テニス同好会だより



## 定例会報告

・平成18年10月28日(土)

練習 PM 5:00~7:00

金沢産業振興センターA・Bコート参加6名  
 今月は月末ということもあり、参加者が少なく寂しい月例会でした。  
 今回は2次会なしということで、テニスオンリー。  
 我がテニス同好会のモットー「プレーだけでなく懇親会(2次会)が大切である!」でも今回は会長も幹事も休みだからねー。



・平成18年11月25日(土)

練習 PM 5:00~7:00

金沢産業振興センターA・Bコート参加9名  
 今回は何とか2組ダブルスできました。でも休憩がないのはきつーい。



「へー・・・(又言ってるよ、脂身食べて  
 痩せる訳ないじゃん)」

「ラム肉を食べると瘦  
 せるんだって!」

ラム肉には、「Lカルニチン」という物質が多く含まれています。このカルニチンには、体内の脂肪を燃焼させるのに重要な役割を持っているのです。さらに、ラム肉には、牛肉や豚肉などのほかの肉と比べると、コレステロールの含有量が少なく、脂肪も少ないのです。このラム肉に含まれている脂肪は、体温よりも高い温度で溶ける性質があるので、体内には吸収されにくいんです。また、体内(血中)のコレステロール値を下げる不飽和脂肪酸が多く含まれているほか、鉄分、ビタミンB群が豊富です。



2次会はいつもの焼肉屋さん

加齢と共に「Lカルニチン」が不足するそうですよ。又中年太りが気になる方はこの物質をHPで検索して見て下さい。  
 皆さん!焼肉屋さんに行ったら、ヘルシーなラム肉を食べましょうね!  
 ラム肉ならジンギスカン料理がいいですね。

## 冬の合宿&忘年会

12月2-3日 場所:逗子マリーナ 宿泊参加者12名、翌日テニスのみ参加6名、計18名

恒例になりました冬の合宿&忘年会が逗子マリーナで行われました。今年の初日は2時間1面でしたので自由に参加して練習という形になりました。強風で大変だったようです。忘年会の鍋パーティの準備を皆さんの協力の元楽しく行いました。

2日目は上天気!皆さんの日頃の行いがいいんでしょうね。トーナメントゲームでは優勝:斎藤・萩野チーム  
 コンソレ優勝:内山・梶チームでした。



かつら剥きに初挑戦、エプロンが似合うでしょ



手分けして支度中



支度前の乾杯!



あれっ?



皆さん揃ったところ  
 でもう一度乾杯!



3日、テニスコートにて全員集合!

2日目の「トーナメントゲーム」で見事勝利に輝いた齋藤・萩野チームを代表して、齋藤さんに感想を書いていただきました。

### 「えっ、この僕が優勝!？」

早いもので、建築士会のテニス同好会に入ってもう8～9年、その間ダブルスのゲームでペアを組む相棒の足を引っ張り続けた私が苦節9年、遂に優勝の荣誉に浴しました！奇跡は今回の逗子マリーナの合宿で起こりました。一日目は午後1時～3時テニスコート一面を使って9名の会員で練習、ゲームを行いました。この日は海からの風が強く、ボールが私たちをあざ笑うが如く、翻弄されてしまいました。みんなが敗戦の責任を風の所為にしたような有様でした。(もっとも、隣のコートでは、朝日レディースの女性たちが、強風をものともせず、ビシバシとゲームをしていました)



齋藤達男氏

ゲームは散々でしたが、その後宴会の買出しに行き、部屋の風呂に入って生気を取り戻し、女性陣や、前掛け持参の竹中さん、鯉江さんらの活躍で、宴会の準備が着々と進み、午後6時から忘年会が始まりました。漁港で仕入れた新鮮な刺身や、間木さんが親戚の畑から朝取りの見事な大根・人参・ねぎ・白菜、それから、豚肉・鶏肉・豆腐・白滝・蛤と盛り沢山の具の入った鍋、そして勿論、ビール・ワイン・焼酎・日本酒、成田さん自家製のゆずジャムなど、大ご馳走で日頃の苦勞を忘れて食べて飲んで大いにしゃべりました。どんなボールも追いかけて取ってしまう、粘り強いテニスをする山口さんが70才と知り、びっくりすると同時に、自分も頑張らねばと、大いに刺激を受けました。仕事で遅れて来た会長の命令一下、翌日は、全員9時から練習開始という事になりました。翌朝はみんな早起きで、やる気満々、朝食もそこそこに、コートに集合しました。昨日と打って変わって、翌日は快晴・無風、小春日和の絶好のコンディションで気持ち良く、まさしくテニス日和、みんなは大張り切り、ボレー・ストローク・サーブ練習の後、いよいよトーナメントによる大会の火蓋が切って落とされました。私はベテランの萩野さんと組むことになりました。萩野さんは上手な方なので、心強く思うと同時に、また私が集中的に狙われる、萩野さんの足を引っ張るだろう、という不安の中でのスタートとなりました。第一ゲームは当日参加の奥津チームと当りました。とにかくミスをしまいと必死につないで萩野さんにボールが行くと、萩野さんが決めてくれるという理想的な試合運びとなり、なんとか第一ゲームに勝利し、一つでも勝ってホッとしました。第二ゲームはあの粘り強い山口チームと対戦しました。私も山口さんを見習って、粘り強さの戦いと覚悟し、馬鹿打ちすること無く、つないでつないで、いい所で萩野さんが決めてくれるというゲームで、なんとか連勝することが出来ました。第三ゲームは強豪・内山会長チームに勝ち上がった小林・鈴木組と対戦しました。低いストロークが伸びて来る鈴木さんと、どこへ打っても返してくる小林さんのチームは強敵でしたが、これにも勝ち、という事は、なんと、私のテニス人生で、かつて一度も無かった決勝進出ということではありませんか！私の辞書に「決勝進出」という文字は無かったのに！決勝の相手は当初から優勝候補の筆頭と目され、事実順当に決勝に駒を進めてきた竹中・森山組でした。竹中さんは「壁」と綽名され、ネットに立たれると、右・左・上にも、もう抜くことは出来ない強烈な壁で、しかも、この壁は非常なスピードで左右に動いてボレーを決めてくる、とても厄介な壁なのです。また森山さんは曲球で取り難く、しかも以前は打ち気に逸ってミスをしてくれたのにこの頃は急速に確実性を増し、良く走って打ち返してくる、正にこの二人は優勝候補と呼ばれるにふさわしく、この私はまったくのノーマーク、ただただ萩野さんのおかげで間違っただけで決勝という場違いの所へ連れて来てもらって途方に暮れているという格好で、勝敗の帰趨は誰の目にも明らか、決勝戦という盛上がりも無く、妻さえも夫の晴れ姿を見ようとせせずサッサとBコートへ行っただけでゲームを始めてしまうという有様、勝敗の行方を疑う者は無い状況でした。だが、勝利の女神は時として気まぐれを起こすこともあるのです。素晴らしい青空の下、萩野・齋藤チームは善戦健闘、なんと、この強豪ペアを破ってしまったのです。「優勝」です！生涯「優勝」などということには縁が無い筈でした。萩野さんありがとうございます！この喜びをどう表現しよう、今年よりリフォーム会社を立ち上げ、苦勞した年だったが、努力する者に女神は微笑むものだ、Heaven helps those handsome who help themselves、ああ今年が良い年であった！今年一年、テニス同好会の幹事、まことにご苦勞様でした。今年最後のテニス大会で飛躍出来たのも幹事のおかげです。来年もよろしく願います。また、同好会の皆様、このような自慢話を書いてしまった私をお許し下さい、来年も仲良くして下さい、テニスでいじめないで下さい、良いお年を！

齋藤さん良かったですね！今年も齋藤夫妻のおかげで逗子マリーナという素晴らしい場所で行うことが出来ました。今年は無数の方に参加していただき、活気のあるトーナメントゲームが出来ました。次回から賞品が出るかも・・・。皆さんも参加してくださいね！ (幹事より)

## 同好会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。詳しくはホームページをご覧ください  
連絡先：玉野 045-894-8452 FAX893-6614

※お詫び：9月の末にPCが壊れデータ救出不可のためメールアドレスが不明。連絡が行き届かずご迷惑をおかけいたしました。お心当たりの方は再度HPのアドレスにご連絡下さい。

## 関ブロ神奈川大会 2007

「学び考える建築士」

関ブロ実行委員会

### 「関ブロ」とは・・・

関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会が主催し、関東に位置する10都県の青年委員会が企画・幹事県が運営する、建築士の情報交換・自己研鑽の場です。例年各県の一押し活動の報告やセミナー等があります。

今年6月16,17日神奈川大会では、「学び考える」をテーマに、神奈川大学で開催します。今回の目玉は、実施コンペと県内の活動に参加できること。建築士会の活動に貴女も参加しませんか？コンペも登録が開始しております。

我こそは！と心に秘めている方、是非ご参加お願いします。



#### ・神奈川大会テーマとコンセプト

神奈川大会 in YOKOHAMA

「学び考える建築士」

昨今の社会問題から、建築士の社会的責任やモラルが問われている。建築士は、医者や弁護士と同様に分野の違いはあるが人間の生活に深く関係する職業である。これからの建築士は、様々な問題に直面したときに対応できる臨機応変な人間形成が求められているといえる。

神奈川大会は、このような背景から、環境問題や社会的責任を含んだ「学び」、そして「考え」行動に移せる自己研鑽、十人十色の個性を重視した相互交流の場を提供するものである。

日程：H19年6月16日(土)～17日(日)

場所：神奈川大学 セレストホール

大会概要

16日(土) 全体会 第1分科会：活動報告 第2

分科会：コンペ発表 第3分科会：交流会

17日(日) 第4分科会：震災、子ども、

福祉、保存等のワークショップ、セミナー等

#### \* 一設計競技応募登録受付中一\*

「良質な都市のストックとしての住宅」

鎌倉市常盤 住宅設計競技

応募要項は下記URLにて

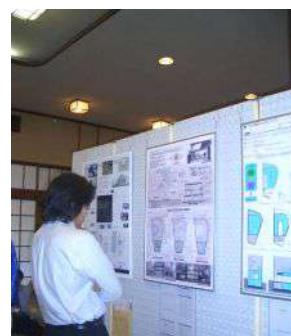
建築士会ホームページ

<http://www.kanblo-kanagawa2007.org>



永井香織大会実行委員長(左)

雨森隆子大会実行副委員長(右)



コンペの展示(群馬大会)の様子

#### \* 一神奈川大会「スタッフ」募集一\*

スタッフとして参加されませんか？

10都県の建築士が500名程集まります。

現在、実行委員は、楽しく準備を進めています。

会員間の交流ができ、多くの刺激を受け、人の輪を広げることができます。

今すぐからでも当日スタッフでも、受け付けます。

#### ～スタッフになると～

- ・ 大会登録費、昼食代は、委員会で負担します
- ・ 大会Tシャツが着れます



#### \* 一神奈川大会「協賛」についてのお願一一\*

大会誌発行にあたり、協賛公告掲載を致しますつきましては、公告掲載の協賛を募集しています。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

連絡先： 社団法人 神奈川県建築士会

事務局： 担当 大平

TEL:045-201-1284 FAX:045-201-0784

## 第4回 神奈川県建築士会活動交流会

### 「建築士と手をつなごう」

CPD 3単位

女性委員会・青年委員会

士会活動交流会は、年1度の会員の集まりで、委員会、部会、支部活動をはじめ、様々な情報交換、発信の場として位置づけています。4回目となり、今回は、会員間の交流に重点をおき企画いたしました。建築士を中心にどなたにも参加しやすい集まりにしております。士会活動を広く社会へアピールするため、一般市民、学生の参加も可能です。



神奈川大学セレストホール

★ 日時：平成19年2月17日(土)

PM 1:00~5:00

① 場所：神奈川大学セレストホール

会費：¥1000

★ 第一部 16号館セレストホール

PM1:00~2:30

② 活動報告(支部、部会、委員会等)

③ 関東甲信越建築士会ブロック会

青年建築士会協議会

神奈川大会参加チームの選出

★ 第二部 19号館生協(LUX)

PM2:50~4:50

懇親会 立食(軽食、ソフトドリンク等)

\* 第1部②の結果発表と講評

\* 各支部からの報告等

その他 楽しい企画検討中!!

★ パネル展示

パネルにて各支部、各部会のご紹介等をいたします。

お問い合わせ・お申し込み

(社) 神奈川県建築士会事務局

担当 大平

TEL:045-201-1284

FAX:045-201-0784

★ 会場案内



## ●技術情報委員会からお知らせ

- ① 毎年、年末に開催されている、横浜支部 技術・情報委員会主催のサロン。  
去年の「パイプオルガンの夕べ」は、大盛況でした。  
今年度のサロンは、年頭の“1月27日（土）”に行なわれます。題して「オペラへのお誘い」。  
横浜シティーオペラ会員の、倉沢一郎氏、飯田千夏氏に、  
「アリア」と「アンサンブル」を、横浜市イギリス館で歌っていただきます。  
詳しくは同封のチラシ、又は士会事務局の大平まで。



倉沢 一郎（バリトン）  
武蔵野音楽大学卒、同大学院修了。  
洗足学園大学講師。



飯田 千夏（ソプラノ）  
武蔵野音楽大学卒、同大学院修了。  
青山学院短大、洗足学園音大、各講師。

横浜シティーオペラ：

1983年、横浜市在住の音楽家30名によって発足。 1993年、神奈川文化賞。 1995年、横浜文化賞。

## ●横浜支部賛助会の皆様へ

この42号支部だよりから、頁の最下段に会社のロゴなどの広告掲載（バナー形式）を無料にて実施させて頂くことにいたしました。今回は急なお願いの為、掲載させて頂いた賛助会の方は少数でした。次回発行は5月下旬を予定しておりますので、ご準備お願いいたします。賛助会会長(株)星 星雅巳社長からの新たなご提案をお待ちしております。

広報委員会

## □ バナー作成について

バナーは、縦35mm。横105mm。解像度を300pixelでお願いします。  
企業スローガンや、住所や電話番号を記載されても構いません。  
原稿はカラー（支部のホームページに記録）。実際に会員配布されるものは、白黒です。  
広報委員会（大貫）まで、メールにて送信。メールアドレス [ohnuki@dream.big.or.jp](mailto:ohnuki@dream.big.or.jp)  
ご不明な点は、広報委員会（大貫）までお問い合わせください。

### 広告バナー（見本）

（社）神奈川県建築士会 横浜支部

## ○ 編集後記

こつこつと積み重ね「ハイキング紀行」のように、2年半掛けると10回になるものもあります。継続するのは、大きな力へと繋がります。皆様も廻りを振り返り、日々の生活の中から大切なものを見つけて下さい。

お正月を迎えて好きな句です

初日出て  
ただちに西の  
涯照らす

天野莫秋子作

編集者（あいうえお順）

雨森隆子  
大西正行  
大北晋一郎  
大貫 浩  
小俣 隆  
田川尚吾  
玉野直美  
橋本朝子  
丸山幸一



●支部だよりの愛読者からいただきました。干支のイノシシをイメージされたクラフトです。ありがとうございました。